

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		街路灯の維持補修			款	5	項	3	目	4	事業	1	整理番号	413		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			係名	交通安全施設係			連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	501		枝番号	
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	35	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。						活動指標名(式)	(1) 街路灯管理数 (2) 街路灯修理件数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理及び電気料等の支払を行う。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標	成果指標名(1)	街路灯稼働率 算定式・指標の説明等 ((街路灯管理灯数 × 365日) - 街路灯修理件数) / 街路灯管理数 × 365日 成果指標名(2) 街路灯修理率 算定式・指標の説明等 街路灯修理件数 / 街路灯管理灯数						
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	22年度						
指標	活動指標(1)		灯	25,105	25,133	25,122	25,155	25,164	25,197	25,211	99.8	100.0				
	活動指標(2)		件	4,061	3,200	2,802	2,600	1,722	1,550	1,500	114.8	66.2				
	成果指標(1)		%	99	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0				
	成果指標(2)		%	16	13	11	10	7	6	6	116.7	67.8				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	221,595	243,633	215,096	256,153	226,955	252,076	20年度予算執行率% 88.6						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	95,272	84,530	84,813	25,778	18,423	25,090	街路灯の修理件数が計画より下回った。						
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.38 0.00	1.88 0.00	1.92 0.00	1.88 0.00	1.92 0.00	1.88 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	21,563	17,183	17,549	17,014	17,376	17,014							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	243,158	260,816	232,645	273,167	244,331	269,090							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	9,686	10,377	9,261	10,859	9,710	10,679							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/						
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/								
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	243,158	260,816	232,645	273,167	244,331	269,090								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 413

20年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費 の内訳として会計上設 定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				街路灯維持管理(委託)	
		街路灯補修(委託)			92,193
		その他()			0
(2)事業実績		区民からの情報提供による故障修理等、緊急対応を迅速に行い、ランプ交換等、街路灯の適正な維持管理を行いました。			
事業 環境 の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	ランプ交換等の実施回数や、定期的な故障等についての発見率に大きな変化は、みられません。 (街路灯管理数値: H5年 24159灯、20年 25141灯)			
	事業に対する住民の意 見(事業に対する期待・ 要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が寄せられています。			
	今後の予測	区全域での街路灯の設置状況は、おおむね適正に設置されており、今後も現状で推移すると思われ、急激に増加する等大きな変動はないと予測されます。			
事業 の あり 方 点 検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)		左の理由または具体的内容		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策		夜間の安全な通行の確保における効果は大きく、他に替えがたいと考えます。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		修理などにかかる単価等の共通化を、土木担当部全体で図るように働きかけていきます。なお、工事及び光熱費に係る経費の精査は、実施済みです。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)		区が管理する道路は、無料で一般の利用に供されるのが原則のため、受益者負担は適切ではない。		
協働 等 点 検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		区内全路線で整備済みとなっている状況を踏まえ、経費軽減のため、街路灯の新設・改修事業と連携し、新光源や資材の導入を検討して行きます。			

改善・ 見直し の 方向 (中 長 期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 修理要望に対して迅速な対応を行った。現地調査を行い年度改修の平準化を行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 引き続き、修理要望に対して迅速な対応を行っていきます。また、管理番号シールをわかりやすい位置に設置していきます。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の理解や関心が必要となりますので、今後も街路灯の重要性や修理等の情報をわかりやすく提供していきます。		
22 年 度 方 針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理 由 今後もの確・正確・迅速に現状を把握し、事業運営に尽力していきます。しかし、原油価格の高騰により、電気料金が増える可能性があります。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		街路灯の新設・改修			款	5	項	3	目	4	事業	2	整理番号	414		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			係名	交通安全施設係			連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	502		枝番号	
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進			予算事業区分							投資事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	35年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	4	事業コード	13	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	街路灯を新設・改修し、安全性を向上する。				活動指標名(式)		(1) 街路灯新設数 (2) 街路灯改修数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	街路灯を新設する。 老朽化した街路灯を改修をする。				成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
		成果指標名(1)		街路灯整備率		算定式・指標の説明等		街路灯新設数 / 街路灯新設計画数								
		成果指標名(2)		街路灯改修率		算定式・指標の説明等		街路灯改修数 / 街路灯改修計画数								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		灯	15	28	44	33	25	33	33	33	75.8	75.8			
	活動指標(2)		灯	1,063	1,620	1,306	1,620	1,529	1,620	1,620	1,620	94.4	94.4			
	成果指標(1)		%	54	100	157	100	76	100	100	100	76.0	76.0			
	成果指標(2)		%	69	100	81	100	94	100	100	100	94.0	94.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	177,918	220,731	209,415	289,730	275,656	336,818	20年度予算執行率%		95.1				
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	175,844	216,514	207,029	285,513	272,387	332,537	原材料価格の高騰により、製品価格が上昇したため事業費が増加している。						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.91 0.00	1.51 0.00	1.54 0.00	1.51 0.00	1.55 0.00	1.51 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	17,305	13,801	14,076	13,666	14,028	13,666							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	195,223	234,532	223,491	303,396	289,684	350,484							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	13,014,867	8,376,143	5,079,341	9,193,818	11,587,360	10,620,727							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/						
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/								
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	195,223	234,532	223,491	303,396	289,684	350,484								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 414

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		街路灯新設(委託)			7,585
		街路灯器具光源改良(委託)			159,332
		ポールアーム改修(委託)			108,739
		その他()			0
(2)事業実績	新設要望に迅速に対応し、設置年数の長い街路灯は調査を行い、器具改修等で安全性の向上を図りました。また、ポールの調査・測量を行い、データベースを作成しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	おおむね区内全路線に街路灯を設置済みとなりましたが、当面は継続的に道路改修等が続くため、一定数量の新設が必要となります。事業開始当時に比べ、新設よりも改修の比重が大きくなりました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が寄せられています。
	今後の予測	区が管理する水路における街路灯の設置を進める必要があるため、今後も現状の計画数量を維持し、設置を行っていきます。また、改修時期を迎える街路灯の増加が見込まれます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	夜間の安全な通行の確保に、大きく貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	街路灯は、一定の規格と改修工事単価等を定めているため、成果の向上はありません。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	道路は、無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではありません。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	工事にかかる経費の精査は実施済みです。今後も単価の精査等は、継続していきますが、大幅な縮減は、困難である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	区内の街路灯の整備は、配置数、場所ともに、おおそ全路線に配置済みの状況です。こうした状況を踏まえ、街路灯の維持・補修事業と連携し、電気量や設置工事費用の軽減のため、新光源や資材の導入、工法の改善を検討します。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減 コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 消費効率の良い機器の検討を行い、試行設置を行いました。GISについては、導入が検討課題となっています。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修に際しては、現行より消費効率の良い機器の導入を検討し、光量を維持しながら消費電力量の削減に取り組めます。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 消費効率の良い機器は、現行機器より高価であることから、費用対効果の検証を十分に行う必要があります。
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性 ○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
(2)理 由 現状維持により、こまめに発注依頼を行い、街路灯新設までの時間を短縮していく。年度間での改修数をなるべく平準化し、現行予算規模での事業運営に尽力していきます。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		民有灯の助成(維持補修)			款	5	項	3	目	4	事業	3	整理番号	415		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			係名	交通安全施設係			連絡先電話番号	4634			昨年度整理番号	503 枝番号		
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	46	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			すべての道路利用者			根拠法令等	(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。			活動指標名(式)			(1) 私道街路灯修理件数 (2) 電気料助成灯数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	既設私道街路灯のポール塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			成果指標名(1) 私道街路灯修理率 算定式・指標の説明等 私道街路灯修理件数/私道街路灯管理灯数 成果指標名(2) 電気料助成率 算定式・指標の説明等 電気料助成灯数 / 電気料助成申請灯数								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	22年度						
指標	活動指標(1)		件	3,195	2,550	1,629	1,500	692	1,500	1,500	46.1	46.1				
	活動指標(2)		灯	8,619	8,645	8,626	8,652	8,632	8,658	8,704	99.2	99.8				
	成果指標(1)		%	38	30	20	18	8	20	20	40.0	44.7				
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	75,410	68,526	53,611	59,780	52,352	69,564	20年度予算執行率% 87.6						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	48,647	38,551	24,518	5,788	4,075	13,507	私道街路灯の調査、塗装のため、事業費が増加している。 私道街路灯の修理件数が計画より下回った。						
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.66 0.00	0.50 0.00	0.51 0.00	0.50 0.00	0.51 0.00	0.50 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	5,980	4,570	4,661	4,525	4,616	4,525							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	81,390	73,096	58,272	64,305	56,968	74,089							
	単位あたりコスト (-)÷		円	25,474	28,665	35,772	42,870	82,324	49,393							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/								
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/								
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	81,390	73,096	58,272	64,305	56,968	74,089								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 415

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み <small>(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目</small>	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		私有灯補修(委託等)			
		私有街路灯故障修理委託(委託等)			3,421
		私有街路灯維持補修工事(委託等)			654
		電気料助成			27,405
		その他()			0
(2)事業実績	区民からの情報提供による故障修理等、緊急対応で迅速に行い、ランプ取替等、私有街路灯の適正な維持管理を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	私有街路灯は概ね一定数量(約8400灯)となり、灯数の増加による故障等も増加をたどってきた。前年度は故障修理が多かったが今年は減少した。 管理数値 (平成5年度 8,313灯、平成20年度 8,358灯)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	街路灯は区民生活の安全安心のため、必要不可欠のものであり、故障等には迅速な対応が求められています。
	今後の予測	現状の状態での推移が見込まれる。宅地開発等による新設私有道の増加に伴い、私有街路灯の新設も若干の伸びが予測されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	夜間の安全な通行の確保における効果は大きく、他に替えがたい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	修理などにかかる単価等の共通化を土木担当部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	行き止まり私有道について、利用者は特定されており受益者負担を検討する余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用方法を見直す必要がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等はするが、大幅な縮減は困難である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	現行の設置基準や助成額法を維持し、私有道上の安全な夜間通行を確保して行きます。また、維持管理については地域住民の理解と協力を引き続き求めて行きます。経費の大部分を占める電気量の負担軽減のため、建設助成事業と連携し光源改良を検討して行きます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	私有街路灯の所有者である町会、自治会との打合せ時に、維持管理についてのPRを行いました。		
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 故障の発見や適切な維持管理に、区民の理解と協力を得ることができるようしていきます。		
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	区民の理解、関心が必要となります。街路灯の重要性や修理等の情報を提供していきます。		
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 現行予算規模での事業運営に尽力していきます。原油価格の高騰により電気料金が増える可能性があります。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		民有灯の助成(建設補助)			款	5	項	3	目	4	事業	4	整理番号	416				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			係名	交通安全施設係			連絡先電話番号	4634			昨年度整理番号	504 枝番号				
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進			予算事業区分								投資事業					
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	46	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	1	政策番号	1	施策番号	4	事業コード	14	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			すべての道路利用者		根拠法令等		(1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 杉並区街路灯設置基準								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		私道街路灯街路灯を新設・改修し、安全性を向上する。			活動指標名(式)		(1) 私道街路灯新設数 (2) 私道街路灯器具改修数										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		申請に基づき、私道街路灯を新設する。老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		私道街路灯整備率 算定式・指標の説明等 私道街路灯新設数 / 私道街路灯新設計画数 成果指標名(2) 私道街路灯器具改修率 算定式・指標の説明等 私道街路灯器具改修数 / 私道街路灯器具改修計画数								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%					
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度					
指標	活動指標(1)		灯	36	26	18	26	18	26	18	26	26	69.2	69.2				
	活動指標(2)		灯	359	440	416	660	651	660	660	660	660	98.6	98.6				
	成果指標(1)		%	138	100	69	100	69	100	69	100	100	69.0	69.0				
	成果指標(2)		%	82	100	95	100	99	100	99	100	100	99.0	99.0				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,394	33,155	31,196	47,242	45,299	58,071	20年度予算執行率%		95.9						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費		千円	29,612	32,032	30,259	45,567	43,777	56,370	原材料価格の高騰により、製品価格が上昇したため、事業費が増加している。								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.18 0.00	0.11 0.00	0.12 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	1,631	1,005	1,097	996	996	996									
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費 + +		千円	32,025	34,160	32,293	48,238	46,295	59,067									
	単位あたりコスト (-)÷		円	889,583	1,313,846	1,794,056	1,855,308	2,571,944	2,271,808									
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0								
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0								
都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/										
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/										
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源 -		千円	32,025	34,160	32,293	48,238	46,295	59,067										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 416

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	街路灯新設(委託等)	
	私道街路灯器具改修(委託等)			26,948
	私道街路灯ポール改修(委託等)			16,079
	その他()			0
(2)事業実績	新設要望に迅速に対応し、設置年数の長い街路灯は調査を行い、器具改修等で安全性の向上を図りました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始時と比べると数量は小さくなってきているが(H1年8,307 H8年8,256 H20年8,358 廃灯有り)民間による開発行為が続いているため、一定数量の増加が続いています。事業開始時の設置灯数が多く、改修を要する街路灯の数は増加傾向にあります。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が寄せられています。
	今後の予測	新設数については、現在の傾向で推移すると見込まれます。一方、改修時期を迎える街路灯への対応が増加すると予想されます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	夜間の安全な通行の確保に、大きく貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	修理などにかかる単価等の共通化を土木担当部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	行き止まり私道について、利用者は特定されており受益者負担を検討する余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用方法を見直す必要があります。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	引き続き、現行基準をもとに、現場の状況を踏まえ整備を進めていきます。新設については区内全域で、概ね対応済みのため、今後は改修工事が増加していくと予想しています。今後は、電気量の負担の少ない機種の導入について検討します。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	現地調査を行い、改修の必要な灯柱の選別を図りました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 私有灯助成については今後も継続していく必要がある。改修時期は設置環境によって変わってくる。改修数量が増大傾向にあるため、現地調査を行いながら年度改修数の平準化を図っていきます。							
		私道は区の管理権がなく、周知活動にも限界がある。また、開発行為に伴う企業者の新設についても、その後の居住者の状況の変化から移設・廃止等の問題が出ることも多く、その調整が課題となっている。灯柱を一本ずつ正確に劣化状況を把握する人的労力が必要となる。また、サンプル調査方法の確定や、合理的な巡回点検の方法について検討する必要があります。							
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	道路街路灯の要望に対し、私道においては申請に基づく「助成」であることを説明し、要望者並びに近隣住民の理解を得て基準に照らし合わせ、新設していきます。また、30年以上経過した器具は、早急に改修を進めていきます。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	交通安全運動の推進	款	5	項	3	目	5	事業	1	整理番号	417	
担当部課名	都市整備部交通対策課	係名	交通対策係			連絡先電話番号	3553			昨年度整理番号	479	枝番号
上位施策No・施策名	6 交通安全の推進						予算事業区分					

事業開始	昭和	▼	40	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	5	事業コード	16	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民及び道路利用者、各署交通安全協会、協議会、各地域交通安全活動推進委員協議会																	
事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、交通事故件数を減少させます。																	
活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) 交通安全協会等への補助金の交付 交通安全啓発指導の実施及び、反射材等交通安全啓発用品等の配布 区立小学校4年生を対象に、自転車教室を実施し、自転車安全利用証を交付する。 中学生を対象としたスタントマンを利用した自転車安全教室を実施する。																	
根拠法令等	(1) 地方自治法第2条第8項 (2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項																	
活動指標名(式)	(1) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数 (2) 自転車安全利用講習会参加者																	
成果指標	(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区内における交通事故件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 区内における自転車に関係した交通事故件数 算定式・指標の説明等																	

区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
		実績	計画	実績	計画	実績	計画								
指標	活動指標(1)	時間	470	500	501	500	438	500			87.6				
	活動指標(2)	人	2,694	5,400	5,775	2,800	3,185	3,100			113.8				
	成果指標(1)	件	2,874	0	2,737	2,821	2,428	0	0		86.1				
	成果指標(2)	件	1,047	0	1,080	882	1,097	0	0		124.4				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	13,892	16,228	15,274	16,231	14,413	19,205	20年度予算執行率% 88.8						
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	千円	2,058	3,495	2,832	3,522	3,033	6,147	活動指標(2)について、19年度は、各小学校の4年生と6年生が未受講のままとなっていましたが、実施が一巡した20年度より、受講対象は新たに4年生になる生徒のみとなるため、計画数値は減少しています。 また、21年度より中学校を対象としたスタントを利用した事故再現の啓発事業を開始したことにより、予算額の増がありました。なお、20年度事業費については、啓発用品等が想定以上に安価で調達できたことなどから、執行額の残が増しました。						
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.72 0.00	2.50 0.00	2.00 0.50	2.50 0.00	2.00 0.50	2.50 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	24,643	22,850	18,280	22,625	18,100				22,625			
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	1,385	0	1,400				0			
	総事業費	千円	38,535	39,078	34,939	38,856	33,913	41,830							
	単位あたりコスト	円	81,989	78,156	69,739	77,712	77,427	83,660							
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0				0			
		国からの補助金等	千円	0	0	0	0	0				0			
		都からの補助金等	千円	/	/	/	/	/				/			
		その他の補助金等	千円	/	/	/	/	/				/			
特定財源計		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源		千円	38,535	39,078	34,939	38,856	33,913	41,830							
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 417

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	事業費(千円)	
(1)主な取組み <small>(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目</small>	交通安全啓発活動				7,086
	各種団体への支援				4,714
	自転車安全利用証				2,007
	自転車交通安全モデル地区				606
	その他()				0
(2)事業実績	警察署と連携した春・秋・冬の交通安全運動などでのPR活動と啓発及び安全グッズの配布や、小学校全校を対象とした自転車の実技講習と中学校でのスタントマンを使った事故再現による自転車安全教室の開催による交通安全啓発活動を行い、交通安全意識の向上を図りました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	交通事故の発生件数及び負傷者の人数は、年を追って減少しつつあります。ただし、交通事故の死者数については、概ね一桁台で推移を続ける中、平成20年度は前年に比して1名増加しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	全体の交通事故件数に比べ、自転車が関係した交通事故が増えており、自転車の安全走行啓発についての要望・苦情が多くなっています。
	今後の予測	高齢者人口が増加し、高齢者の交通事故の割合が増加すると考えられます。また、自転車が関係した事故の増加など、近年の交通事故は、個人の交通安全意識の低下やモラルの欠如が起因しており、今後も交通安全全般に対する意識の啓発を、より強化していく必要があります。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	交通安全啓発活動は、区民の生命を守り、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために欠かせない活動であり、今後も継続していく必要があります。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	より効果的な啓発活動について研究を行います。また、自転車安全利用証の交付制度の実施により、交付する児童だけでなく、家族ぐるみでの自転車の安全運転意識の啓発をしていきます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	事業の性質上、受益者負担は適しません。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	啓発用品の一部を環境にやさしい素材に転換するため、単位あたりのコストが高くなります。また、自転車安全利用者証は、各児童が交付されたという自覚が持てるよう、自転車運転免許証に近いイメージの素材・デザインでの作製が必要となります。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題
 自転車に関与する交通事故が都内では3割強であるが、杉並区では5割に近い状況にある。また、自転車側が加害者になる事故も増えてきており、自転車利用者への自転車走行ルール・マナーの周知徹底は急務です。効果的な周知徹底を実現するためには、交通の専門家である警察との強固な連携が必要であると考え、連絡会を定例化し意思疎通、信頼関係の構築を高めたことは評価できる点です。小学生・中学生への自転車安全利用講習はシステム化されましたが、大人への講習が大きな課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) スタントマンにより自転車交通事故を再現し、生徒に疑似体験させる教育手法を導入した教室を試験的に中学校で開催し、自転車安全ルールの新しい啓発活動の開発に努めました。試行の結果、効果が高いことから、今後も継続して実施します。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 <small>警察との強い連携のもと、より効果的な啓発活動の実施に努めます。 歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及していきます。 幼児用自転車ヘルメットの鞍旋販売については、今後も実施していくとともに、児童用自転車ヘルメットの普及方法を考えていきます。 自転車安全利用証の交付制度については、効果を検証しながら、より多くの児童に交付されるよう実施・継続していきます。 次年度を目標に、自転車安全利用ルールの周知率8割を目標とします。</small>	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 啓発用品については、より効果的で実用性の高い啓発資材の選定が必要となるため、素材についての情報収集と併せて、関係機関と協議するとともに、効果的な活動を行うために警察と強く連携していく必要があります。 また、幼児用自転車ヘルメットの鞍旋販売及び自転車安全利用証交付制度の実施効果について定期的に検証するとともに、児童用自転車ヘルメットの普及について区内自転車商と検討を行います。		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 幼児用自転車ヘルメットの鞍旋販売及び自転車安全利用証制度については引き続き実施していきます。交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくために、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施していきます。また、歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及していきます。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		交通安全施設の維持補修			款	5	項	3	目	5	事業	2	整理番号	418		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			係名	交通安全施設係			連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	505		枝番号	
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	36	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 地方自治法第2条第3項 (2) 道路法第42条							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持する事により、道路利用者の安全を確保する。					活動指標名(式) (1) 交通安全施設の補修件数 (2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	破損した交通安全施設の補修工事及び、道路反射鏡・ガードレール・配電型交差点鈺の清掃を行う。配電型交差点鈺の電気料金を支払う。					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 交通安全施設の相談件数に対する補修率 算定式・指標の説明等 補修件数 / 相談件数 × 100 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		件	523	500	598	500	525	500	500	500	105.0	105.0			
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0			
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	37,796	38,192	38,046	38,101	37,993	41,259	20年度予算執行率%			99.7			
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	36,070	36,349	36,299	35,516	35,500	38,636							
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.50 0.00	1.48 0.00	1.53 0.00	1.30 0.00	1.35 0.00	1.30 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	13,590	13,527	13,984	11,765	12,218	11,765							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	51,386	51,719	52,030	49,866	50,211	53,024							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	98,252	103,438	87,007	99,732	95,640	106,048							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/						
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/								
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	51,386	51,719	52,030	49,866	50,211	53,024								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 418

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		道路反射鏡等補修(道路反射鏡、防護柵、標識の修理等)(委託等)	525	件	34,611
		交通安全施設清掃委託(発光式道路鏡)(委託等)	219	基	889
		交通安全施設維持管理(電気料金、材料費等)			2,493
その他()					0
(2)事業実績	日常区民から寄せられる交通安全施設の補修相談などに対し、充分な対応が取れました。また、既存施設に老朽化や当て逃げ等の補修において、台帳上からの経年更新及び区民からの情報提供における緊急対応を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主な交通安全施設の管理数値(各年4月1日) ・防護柵 H57 40,489m H15 36,680m H20 36,392m ・道路反射鏡 3,386本 4,790本 4,856本 ・道路標識 1,632本 1,467本 1,424本
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・交通安全への意識の高まりから道路反射鏡の向き直し、防護柵の補修要望が増えています。 ・建築工事などに伴う交通安全施設の自費工事による移設要望が多くなっています。
	今後の予測	・交通安全施設の整備設置は着実に進められており、今後も交通安全施設は増加していくと思われます。維持補修工事による補修件数についても、現状維持から微増で推移するものと予測しています。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	交通安全施設を適正に管理し、その機能を保持することは、道路交通の安全を確保する上で、非常に重要です。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができる できる(へ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	交通事故などによる施設破損等の緊急時の初期対応を職員らが行うことで、危険回避や経費削減を図っています。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	道路は無料で一般に供されるのが原則のため、受益者負担は適切ではありません。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は困難である。	

協働等点検	(1) 協働等は実現している 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	交通安全施設の点検や清掃の実施、迅速な修理を通じて、区民の安全を確保しています。今後は、交通安全施設の整備事業と連携し、耐久性が高く視認性の高い機器を導入し、経費の節減と安全性の確保に取り組んでいきます。また、税金の適切な投入のため、自己都合や交通事故の原因者には、道路法の趣旨を説明し、自費工事とし応分の負担を求めていきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減 コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) ・接触事故等による道路反射鏡鏡面の交換頻度を削減するために、耐久性の高いステンレス製鏡面への交換を進めました。また、道路警戒標識板を広角プリズム板に随時交換し、夜間などの視認性を向上させるなど、恒久性や視認性が高い交通安全施設の更新を行いました。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・引き続き、耐久性や視認性の高い施設への更新を行っていきます。
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・数多い既存の交通安全施設全てに、更新を行うのはまだ期間が必要となります。	

22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2)理由	市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出しております。今年度のような、鋼材等の急激な物価上昇が無い限り、予算の増減は見込みはありません。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		交通安全施設の整備			款	5	項	3	目	5	事業	3	整理番号	419				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			係名	交通安全施設係			連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	506		枝番号			
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進			予算事業区分							投資事業						
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	36	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	1	政策番号	1	施策番号	4	事業コード	12	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区が管理する道路の利用者							根拠法令等 (1) 地方自治法第2条第3項第8号 (2) 道路法第45条、第85条										
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 各種交通安全施設を整備充実させ、交通事故の防止や減少を図ります。							活動指標名(式) (1) 道路反射鏡の整備数(決算数値) (2) 自発光式交差点鉾の整備数(決算数値)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路反射鏡、自発光交差点鉾、防護柵等の交通安全施設を整備・充実する。							成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 道路反射鏡の整備数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 自発光式交差点鉾の整備数 算定式・指標の説明等										
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%					
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度					
指標	活動指標(1)		基	111	100	94	150	147	150	150	150	98.0	98.0					
	活動指標(2)		基	19	16	23	25	23	25	25	25	92.0	92.0					
	成果指標(1)		本	580	680	674	830	821	980	1,130	72.7	98.9						
	成果指標(2)		基	128	144	151	169	174	194	219	79.5	103.0						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	90,996	91,712	91,536	109,425	106,005	115,431	20年度予算執行率%			96.9					
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費		千円	88,875	89,446	89,376	107,159	103,747	113,141	活動指標名(2)及び成果指標名(2)は、平成21年度より、「自発光式交差点鉾の整備数(決算数値)」及び「自発光式交差点鉾の整備数」に変更しました。								
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.52 0.00	3.52 0.00	3.64 0.00	3.70 0.00	3.82 0.00	3.70 0.00									
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	31,891	32,173	33,270	33,485	34,571	33,485									
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費 + +		千円	122,887	123,885	124,806	142,910	140,576	148,916									
	単位あたりコスト (-)÷		円	1,107,090	1,238,850	1,327,723	952,733	956,299	992,773									
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0								
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0								
都からの補助金等		千円	/	/	/	/	/	/										
その他の補助金等		千円	/	/	/	/	/	/										
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源 -		千円	122,887	123,885	124,806	142,910	140,576	148,916										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 419

20年度 の事業実施 状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		道路反射鏡新設改良	147	基	28,044
		自発光式交差点鏡の新設改良	23	基	5,201
		視覚障害者誘導標新設・改良	719	枚	4,245
		白線新設・改良	56096.3	m	28,600
その他(交通安全施設整備工事ほか)			39,915		
(2)事業実績	平成20年度は、ほぼ計画通りに実施しました。未達成は、緊急を要する他の交通安全施設の新設・改良に充当されたことなどによります。				

事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	交通安全施設に対する、設置・改良要望は依然として増加傾向にある。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	生活道路の抜け道化、高齢化等により、交通安全の確保に対する要望が増えている。
	今後の予測	今後も、新規設置要望に加え、既存施設の改良との併用の増加が見込まれる。

事業のあり 方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	各種交通安全施設を充実させることにより、交通事故の防止、注意喚起を行う事ができる。	
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	一回毎の施工指示コストが増大する。しかし、数箇所まとめて指示、施工することで事業費を抑制することができる。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	道路は無料で一般に供されるのが原則であるため、受益者負担は適切ではありません。	
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は困難である。		

協働等 点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

評価と課題
交通安全の確保の上で、本事業の効果は大きいことから、事業規模を拡大し整備を図りました。また、新設だけでなく、既存施設の改良等も行い、事業を進めてきました。今後、施設整備に頼るだけでなく、交通法規を遵守させる方策との相乗効果で、交通安全の確保に取り組んでいきます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) ・平成20年度予算で、道路反射鏡の予算が拡充され、交通安全施設の充実が図られました。なお、平成21年度の予算増は、鋼材等の急激な価格上昇が起きたためによります。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・引き続き、要望箇所や交通事故が頻発する交差点等において、交通安全施設を設置して行くと共に、既存施設の改良も併せて行っています。また、新設・改良施設とも、高機能かつ耐久性の強い施設を設置していきます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 ・市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出しております。今年度のような、鋼材等の急激な価格変動が無い限り、予算の増減は見込みません。	